

第92期 業務のご報告

2024.4.1 - 2025.3.31



多摩信用金庫

目次

I. たましんについて	P.3~P.5
II. 2024年度の取り組み	P.6~P.12
III. 2024年度 業績概要	P.13~P.17
IV. 2024年度 決算概要	P.18~P.24

経営理念

たましんは、お客さまの幸せを創造する企業
たましんの仕事は、お客さまの幸せづくり

長期ビジョン

永続的に「地域の課題解決インフラ」になる

基本方針

わが信用金庫は社会的公器として協同組織による地域金融機関たる精神に徹し、

1. 役職員一致の体制を整え
2. 信義誠実、明朗堅実にして信頼に富む職場を築き
3. 業容の増大、質の向上を図って金融の疎通につとめ

以て地元の繁栄とわが国経済の振興に寄与することを念願する。

※ 残高と損益の状況は、信用金庫法に基づく報告書様式「決算速報」の定義により算出したものです。

※ 原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しているため、合計・前期比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

未来に向けて“つながり”を育み永続的な価値を創造する

いつもたましんをご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

2024年度については、中期経営計画のメインテーマにもある“つながり”を強化していくため、様々な取り組みを実施してまいりました。

事業者のお客さまに対しては、お客さまの多様なニーズにお応えするため、金庫内ネットワークを最大限に活用し、販路開拓支援などのビジネスマッチング支援に積極的に取り組みました。

個人のお客さまに対しては、従来の対面チャネルだけでなく、非対面チャネルも積極的に活用し、お客さま一人ひとりに合った課題の解決に取り組みました。

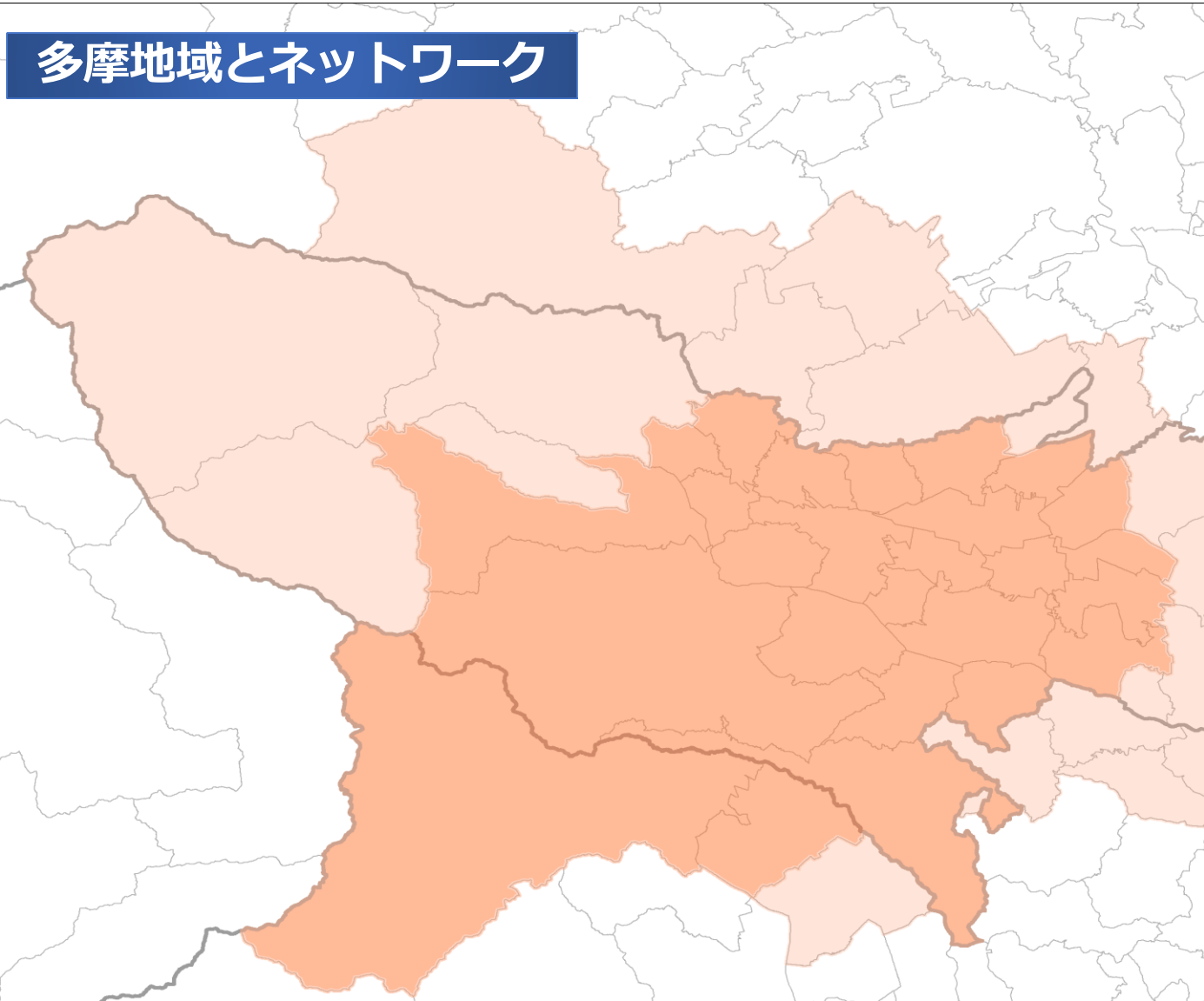
2025年度は、3カ年計画である「中期経営計画2026」の中間年度となります。様々な“つながり”を大切にし、新たな価値創造を通して「お客さまの幸せづくり」を実現してまいります。

地域のお客さまにおかれましては、今後も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

理事長 金井 雅彦

I. たましんについて

多摩地域とネットワーク



市町村内に店舗がある営業地区

その他の営業地区

プロフィール

(2025年3月末現在)

創立	1933年12月26日 有限責任立川信用組合として設立 2006年1月10日 合併により多摩信用金庫
純資産	1,112億円
普通出資金	206億円
預金・貸出金 残高	預 金：3兆2,742億円 貸出金：1兆1,967億円
本店	東京都立川市緑町3番地の4
店舗数	本支店 79 / 出張所 2 店外ATMコーナー 57
役職員数	1,892名 (パートタイマー職員163名含む)

2024～2026年度における計画（中期経営計画2026）

2024年度 2025年度 2026年度 2027年度 2028年度 2029年度 2030年度

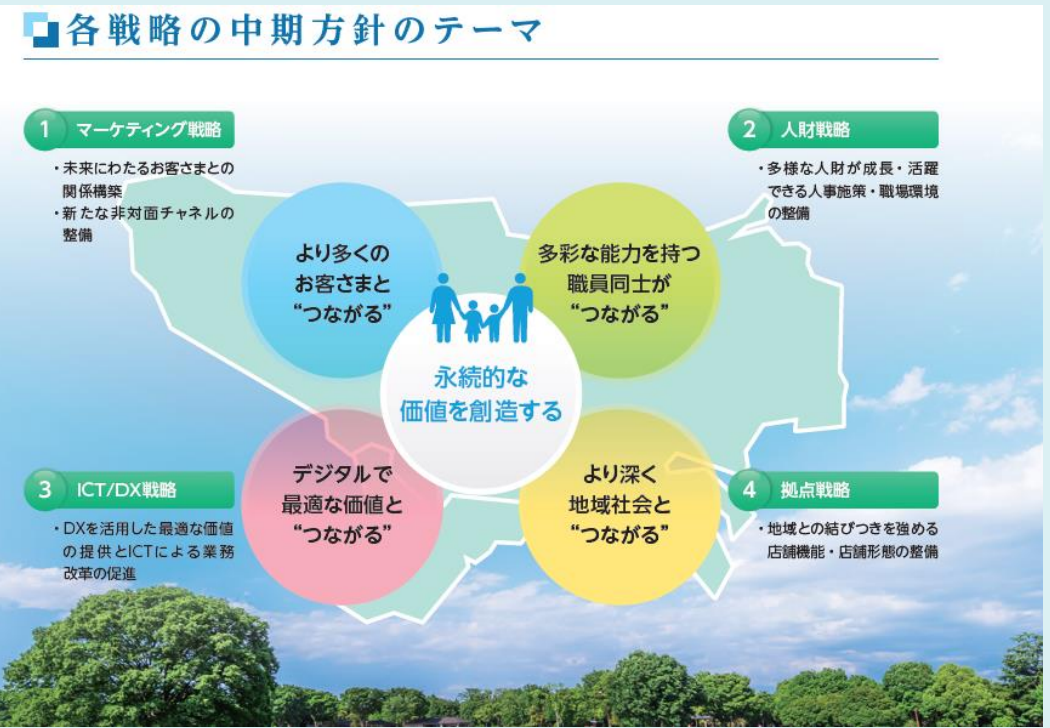
2030年を見据えた長期戦略〔第2版〕 ～新・7つの指針～

中期経営計画2026 ～4つの成長戦略～

短期経営計画2024 → 短期経営計画2025 → 短期経営計画2026



2024年度は、中期経営計画の初年度であり、メインテーマの「未来に向けて“つながり”を育み 永続的な価値を創造する」の実現に向けて、役職員一丸となって課題解決活動に取り組みました。



Ⅱ. 2024年度の取り組み

“つながり”が育む 新たなビジネス

たましんは、ビジネスマッチングを通じた事業所のお客さまの課題解決に注力しています。その結果、2024年度にお客さま同士をおつなぎした件数は6,049件となり多くのマッチング事例を創出しました。今後もお客さまのニーズ把握に努め、多摩地域内における「お客さま同士の“つながり”」を育ててまいります。



未来へつなぐ 多摩の力 ～多摩ブルー・グリーン賞～

多摩ブルー・グリーン賞は、優れた「技術や製品」、「ビジネスモデル」を通じて地域経済の発展に寄与したお客さまを表彰しています。受賞企業は多摩ブルー・グリーン倶楽部に参加し、会員相互の連携を通じて地域経済の発展を目指して活動されています。



ビジネスの 実現・加速化を応援

事業支援型ビジネスコンテスト LEVEL UP STAGE2024を開催しました。総エントリー数は122名で大学生からシニアの方まで幅広い世代の方からお申込みいただきました。選考中にビジネスプランのブラッシュアップを行い、数多くの事業者支援を実施しました。



「住まいの夢」を応援

人生の一大イベントである住宅購入。たましんでは、住まいに関するお客さまの夢を叶えるお手伝いを行っています。物件購入はもちろん、お借換えやリフォーム資金のご相談も可能です。また、WEB事前審査や種類豊富な団体信用生命保険もご用意しています。



複雑で分かりにくい年金制度 たましんがサポート

毎年改正が行われる複雑な年金制度。それに加えて、一人ひとり歩んできた人生が違うため、年金の記録は一つとして同じ方はいらっしゃいません。将来の受取額の調査からお客さまの意向に合った受け取り方まで、しっかりとサポートしています。



お客さまと一緒に考えるマネープラン

たましんでは、お客さまに合ったマネープランを一緒に考え、実現までのお手伝いをしています。すまいるプラザは、平日は夕方まで、土日も営業しておりますので、ご都合に合わせてご利用いただきやすい環境を整えております。



地域行事でつながる絆

地域行事への参加・協力を積極的に行い、地域のお客さまとの“つながり”を大切にしています。多摩地域を代表するイベントや地域の伝統的な行事へ参加することで、文化を体感しながら楽しく地域を盛り上げていきます。



多摩地域で愉しめる 本格アートの世界

たましん美術館では、「浮世絵 歌川広重《名所江戸百景》」、「源氏物語の新世界—明け暮れ書き読みいとなみおはす—」などの企画展を開催し、多数のお客さまにご来館いただきました。これからも多摩地域の文化・芸術の発展に貢献していきます。



お客さまの財産を お守りするために

たましんでは、日頃から振込詐欺等の被害防止に取り組んでいます。状況によっては所轄の警察署の方とも協力しながら、お客さまが金融犯罪の被害に遭わないように注意喚起を行っていますので、ご理解ご協力をお願いします。



データを活かす 頼れる人財育成

データを活用できる人財を育成し、課題解決の質を高めるため、DX専門人財プログラムを実施しています。営業店の若手職員や本部のベテラン職員など幅広い層の12名が受講し、新しい知識を身に付けました。



家族も仕事も 大切にできる働き方

たましんでは、男性の育児休業取得を積極的に推進しています。2024年度は27名の男性職員が育児を目的とした休業・休暇を取得しました。取得した職員からは、「家族とのかけがえのない時間を過ごすことができました。」という感想が寄せられました。



未来を創る たましんの新しい力

2024年4月に、67名が新入職員として入庫しました。研修期間で基礎知識を身に付けたのち、お客さまサービス担当を中心に配置され、お客さまの課題解決をお手伝いしています。新たな職員とともに、より一層お客さまに信頼される存在となるよう取り組んでまいります。



- 貸出金増加（月中平残）は、事業性融資や住宅ローンの取り組みが良好に推移した結果、計画比176億円増加の376億円となりました。また、預金積金増加（月中平残）は、大口預金の流出や預かり資産への振替等があったことを主な要因として、計画比455億円減少の45億円となりました。
- 預かり資産等取扱額は、公共債の取り扱いが増加したことにより計画比214億円増加の814億円となりました。

	2024年度			2025年度	2026年度
	計画	実績	差異	計画	計画
貸出金増加（月中平残）	200	376	176	300	300
預金積金増加（月中平残）	500	45	▲ 455	500	500
預かり資産等取扱額	600	814	214	600	600
投資信託等	250	237	▲ 13	250	250
運用性保険	180	143	▲ 37	180	180
公共債	150	431	281	150	150
外貨定期預金	20	1	▲ 19	20	20
保障性保険 契約件数	2,000	1,559	▲ 441	2,000	2,000

※2025年度及び2026年度の計画値は、経営環境などの変化に伴い、中期経営計画数値を見直して作成した計画値を表示しています。
 ※差異は表示単位での計画と実績の差異を表示しています。

（単位：億円・件）

- 業務純益は、資金利益の増加および経費の抑制等に努めた結果、計画比8億円増加の34億円となりました。
- 当期純利益は、計画比8億円増加の26億円となりました。

(単位：億円・%)

	2024年度			2025年度	2026年度
	計画	実績	差異	計画	計画
業務粗利益	304	300	▲ 4	302	332
資金利益	359	374	15	348	366
役務取引等利益	30	31	1	29	28
その他業務利益	▲ 85	▲ 105	▲ 20	▲ 75	▲ 61
経費	278	266	▲ 12	275	273
業務純益	26	34	8	26	59
コア業務純益	31	43	12	50	85
経常利益	28	35	7	30	56
当期純利益	18	26	8	20	39
自己資本比率	8.45	8.65	0.20pt	8.75	8.82

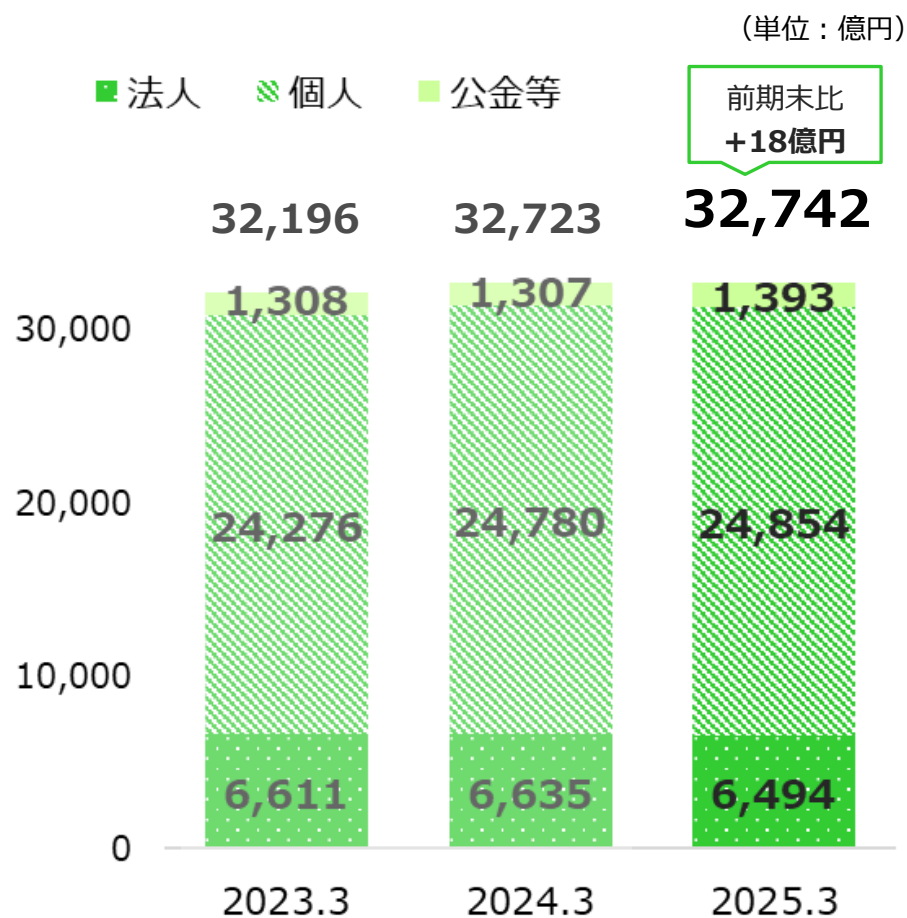
※2025年度及び2026年度の計画値は、経営環境などの変化に伴い、中期経営計画数値を見直して作成した計画値を表示しています。

※差異は表示単位での計画と実績の差異を表示しています。

Ⅲ. 2024年度 業績概要

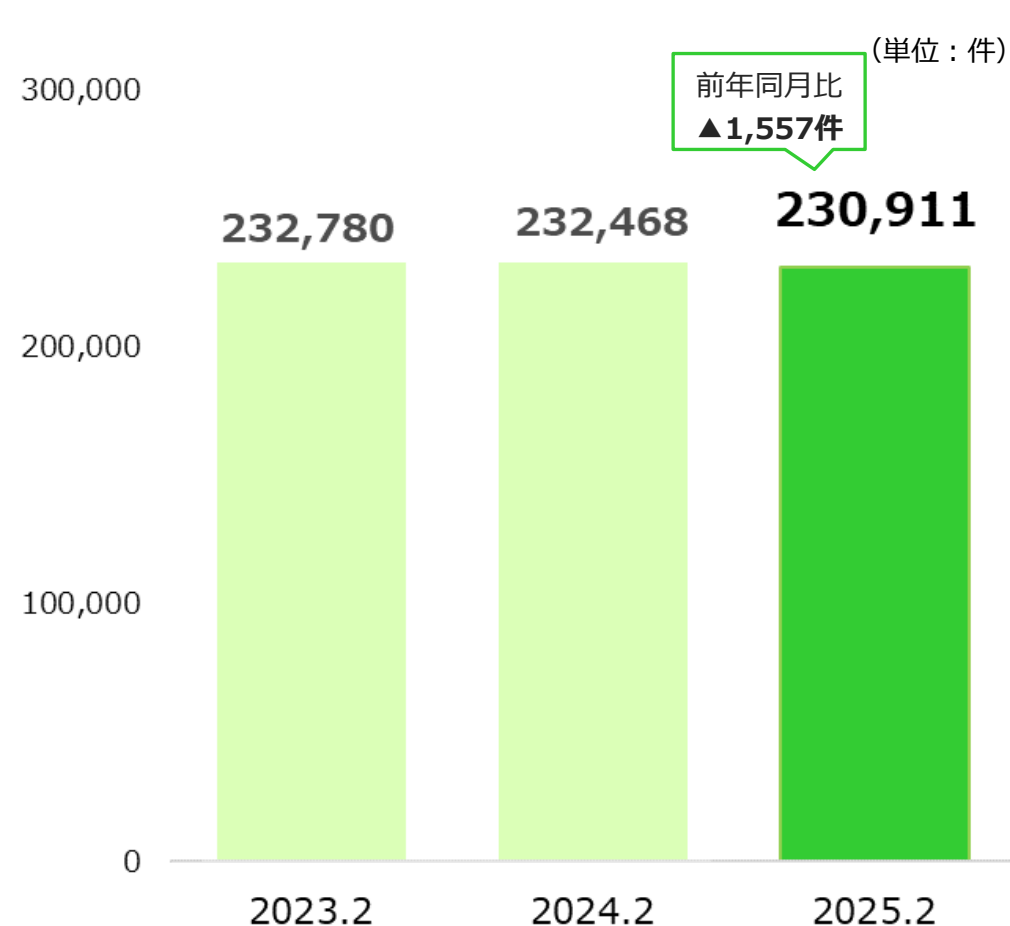
- 預金積金残高は、大口預金の流出や預かり資産への振替等の減少要因があったものの、安定した年金振込等を背景に前期末比18億円増加し3兆2,742億円となりました。引き続き安心してお取り引きいただけるサポート体制を築いていきます。

預金積金残高・内訳



※合計値は円単位での合計を表示しているため、表示数値による算出値と一致しない場合があります。

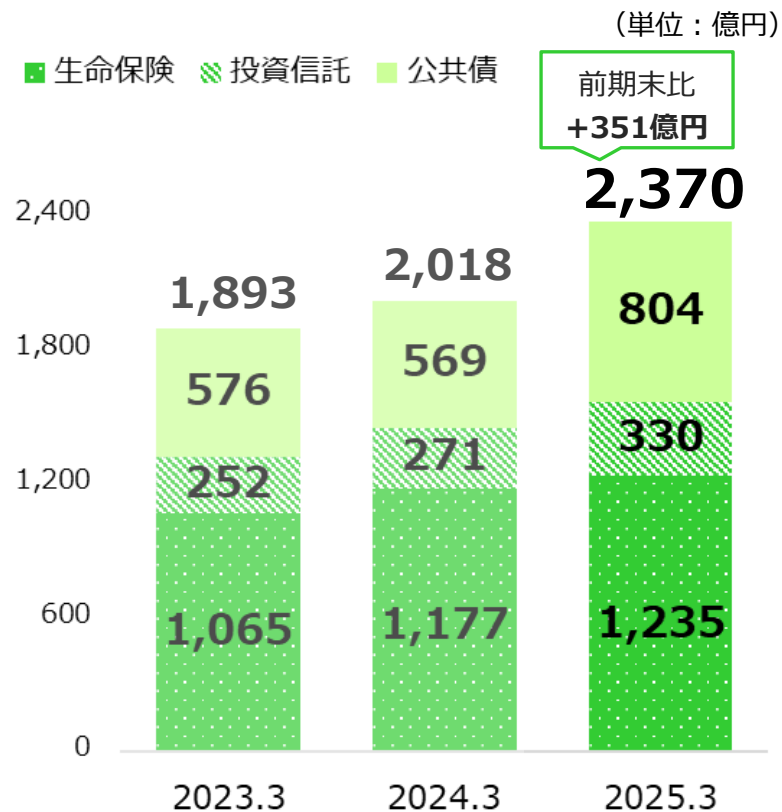
年金振込件数



※基金を除く振込実績を表示しています。

- 預かり資産残高は、お客さまの多様化するニーズにお応えした結果、前期末比351億円増加し2,370億円となりました。
- たましんは、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づき、お客さまのご意向に合わせた適切なご案内やわかりやすい説明を行うよう取り組んでいます。

預かり資産残高・内訳



預かり資産等取扱状況

(単位：億円・件)

科目	2023.3	2024.3	2025.3
預かり資産等取扱額	551	614	814
投資信託等	219	261	237
運用性保険	152	174	143
公共債	165	174	431
外貨定期預金	13	3	1
保障性保険契約件数	1,894	1,645	1,559

※外貨建て商品は、払込日のTTMレートで円換算して算出しています。
 ※合計値は円単位での合計を表示しているため、表示数値による算出値と一致しない場合があります。

有価証券の状況

- 資金運用については、中長期的に安定した運用を心がけ、各種リスク管理を行ったうえで、国内外の債券を中心に株式や投資信託等に分散投資しています。
- 保有有価証券の評価損益は、市場金利の上昇を主な要因として、債券の評価損益が悪化したことで▲259億円となりました。なお、「リスク管理」と「将来の収益確保」という観点から、運用資産におけるポートフォリオの組み換えを実施するなど適切に対応しています。

有価証券残高・内訳

(単位：億円)

科目	2024.3		2025.3	
	金額	構成比	金額	構成比
有価証券残高	11,299	100.00%	11,284	100.00%
国債	550	4.87%	711	6.30%
地方債	2,089	18.49%	2,012	17.83%
社債	3,117	27.59%	3,750	33.24%
株式	298	2.64%	290	2.57%
外国証券	3,814	33.76%	3,369	29.86%
その他	1,427	12.63%	1,148	10.18%

※貸借対照表計上額を表示しています。

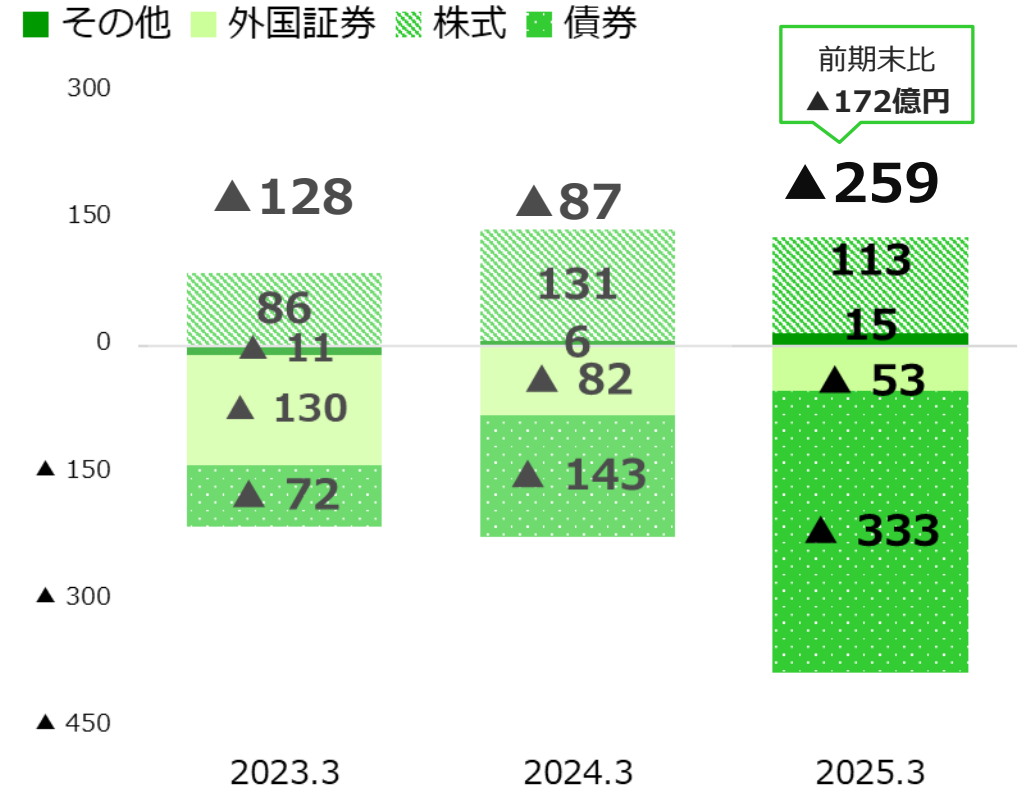
市場動向 (期末日における終値・利回り)

(単位：円)

	2023.3	2024.3	2025.3
日経平均株価	28,041.48	40,369.44	35,617.56
国債 5年	0.090%	0.355%	1.095%
国債 10年	0.320%	0.725%	1.485%
米国債 10年	3.467%	4.200%	4.205%

保有有価証券の評価損益

(単位：億円)


 ※合計値は円単位で合計を表示しているため、表示数値による算出値と一致しない場合があります。
 ※「その他」は、投資信託及び優先出資証券等です。

IV. 2024年度 決算概要

主要勘定残高 (貸借対照表)

(単位：百万円)

資産の部		2024.3	2025.3	前期比
1	現金	29,339	32,562	3,222
2	預け金	1,102,514	1,069,421	▲ 33,092
3	有価証券	1,129,949	1,128,401	▲ 1,548
4	国債	55,041	71,133	16,092
5	地方債	208,990	201,275	▲ 7,714
6	社債	311,770	375,091	63,320
7	株式	29,874	29,001	▲ 872
8	その他の証券	524,273	451,899	▲ 72,374
9	貸出金	1,154,871	1,196,725	41,853
10	割引手形	6,071	3,098	▲ 2,973
11	手形貸付	24,232	22,168	▲ 2,063
12	証書貸付	1,103,652	1,133,442	29,789
13	当座貸越	20,915	38,016	17,101
14	その他資産	31,692	24,187	▲ 7,505
15	有形固定資産	34,590	33,711	▲ 878
16	無形固定資産	1,373	1,327	▲ 46
17	貸倒引当金	▲ 6,299	▲ 5,833	466
18	(個別貸倒引当金)	▲ 5,576	▲ 5,143	432
19	資産の部合計	3,569,762	3,568,998	▲ 764

負債の部		2024.3	2025.3	前期比
20	預金積金	3,272,374	3,274,207	1,832
21	当座預金	72,685	74,247	1,561
22	普通預金	2,178,419	2,241,335	62,915
23	定期預金	941,568	874,611	▲ 66,957
24	定期積金	41,640	37,192	▲ 4,448
25	その他	38,059	46,820	8,760
26	コールマネー	102,633	103,816	1,183
27	債券貸借取引受入担保金	57,884	63,390	5,505
28	その他負債	12,534	9,939	▲ 2,594
29	負債の部合計	3,451,504	3,457,769	6,265
純資産の部		2024.3	2025.3	前期比
30	出資金	26,162	26,015	▲ 147
31	資本準備金	766	766	-
32	利益剰余金	91,127	93,185	2,058
33	利益準備金	24,050	24,330	280
34	特別積立金	63,000	64,500	1,500
35	当期末処分剰余金	4,076	4,355	278
36	評価・換算差額等合計	201	▲ 8,738	▲ 8,940
37	純資産の部合計	118,258	111,228	▲ 7,029
38	負債及び純資産の部合計	3,569,762	3,568,998	▲ 764

※主要勘定の残高を表示しているため、合計が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

損益の状況

(単位：百万円)

科目	2024.3	2025.3	前期比
1 業務収益	47,000	48,884	1,883
2 資金運用収益	41,765	42,722	957
3 貸出金利息	19,053	19,512	458
4 預け金利息	1,492	3,185	1,693
5 有価証券利息配当金	19,236	18,133	▲ 1,103
6 役務取引等収益	4,610	4,914	303
7 その他業務収益	624	1,247	622
8 国債等債券売却益	258	1,008	749
9 国債等債券償還益	30	66	36
10 業務費用	45,139	45,450	310
11 資金調達費用	4,156	5,288	1,131
12 預金利息	51	2,066	2,014
13 役務取引等費用	1,613	1,795	181
14 その他業務費用	13,059	11,763	▲ 1,295
15 経費	26,333	26,636	303
16 業務純益	1,879	3,454	1,574
17 コア業務純益	3,398	4,314	916
18 臨時収益	3,472	1,880	▲ 1,592
19 株式等売却益	2,868	1,513	▲ 1,354
20 臨時費用	1,642	1,728	85
21 経常利益	3,691	3,586	▲ 104

※合計値等は円単位で合計を表示しているため、表示数値による算出値と一致しない場合があります。
 ※コア業務純益は「業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益」で算出されます。

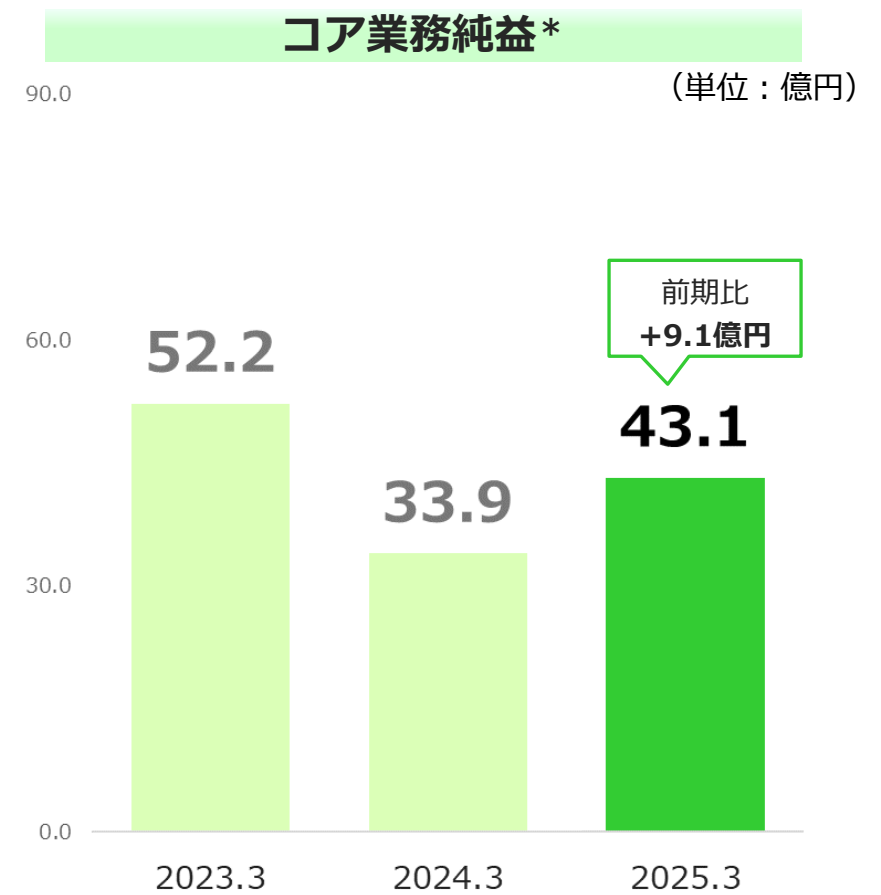
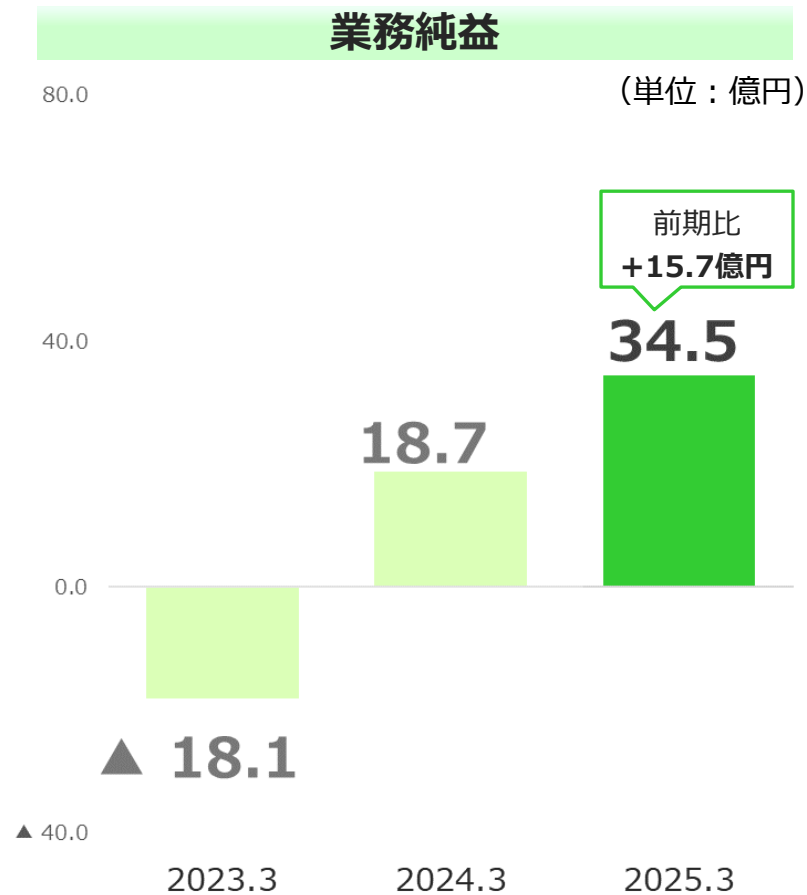
剰余金処分

(単位：百万円)

科目	2025.3
当期末処分剰余金	4,355
繰越金（期首残高）	1,674
当期純利益	2,681
剰余金処分量	2,182
利益準備金	270
普通出資に対する配当金（年2.0%）	412
特別積立金	1,500
繰越金（当期末残高）	2,173

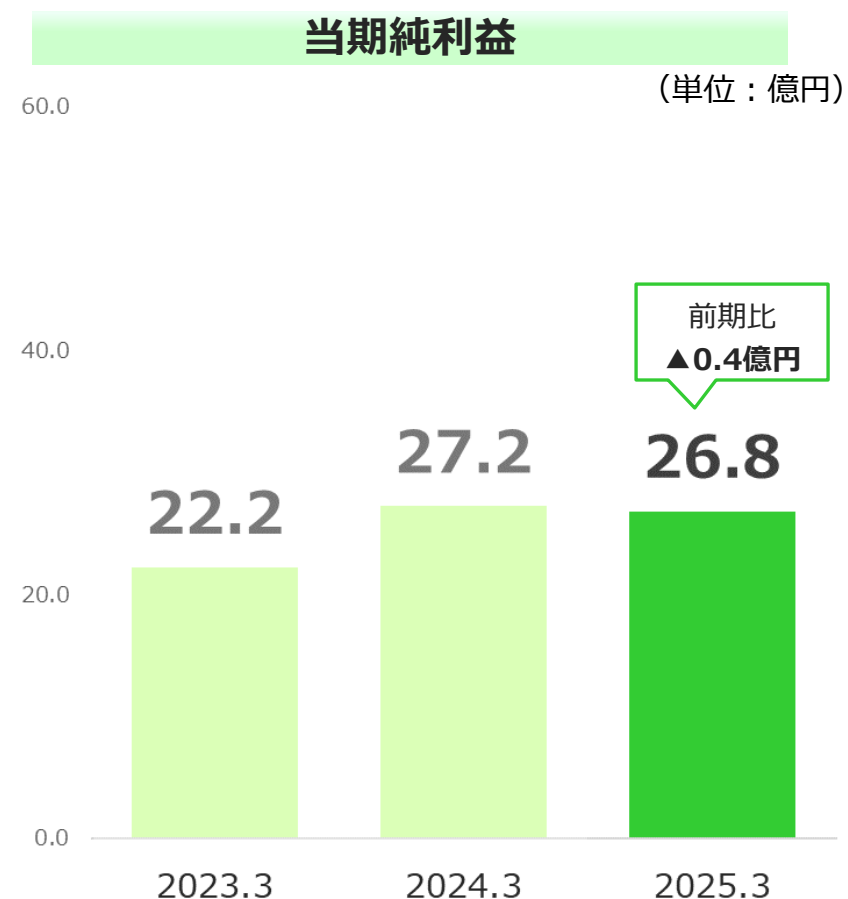
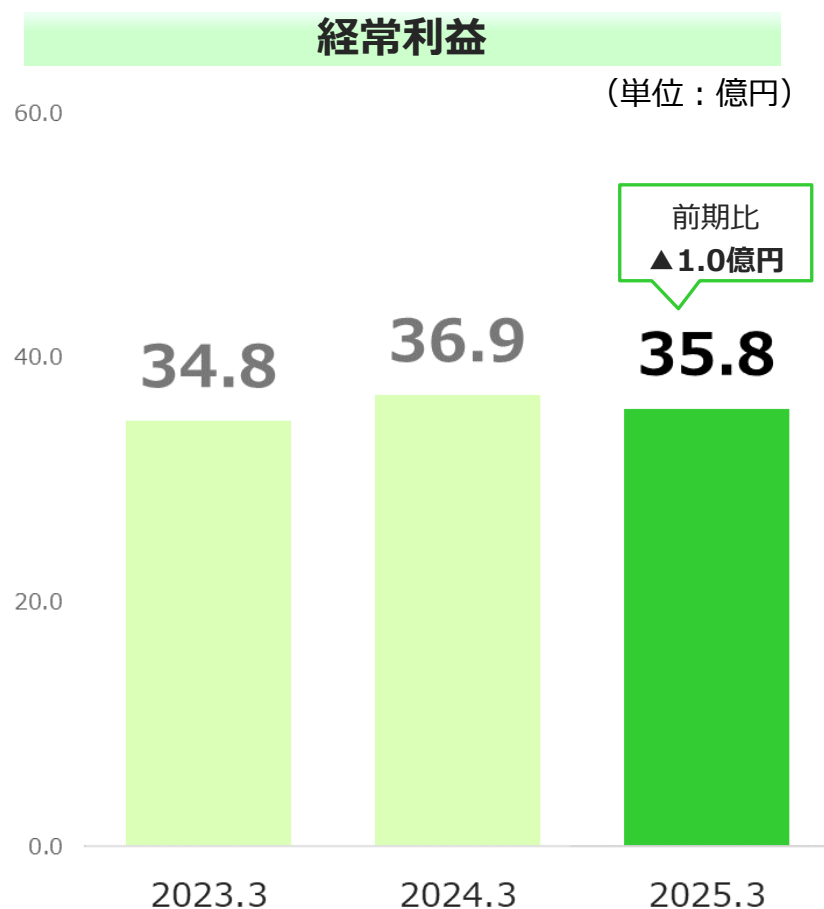
業務純益・コア業務純益

- 業務純益は、預金利息が増加した一方、貸出利息や預け金利息が増加したことにより、前期比15.7億円増加の34.5億円となりました。
- コア業務純益は、前期比9.1億円増加の43.1億円となりました。



*コア業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券損益

- 経常利益は、株式等の売却益を前期比で抑制したため、前期比1.0億円減少の35.8億円となりました。
- 当期純利益は、前期比0.4億円減少の26.8億円となりました。



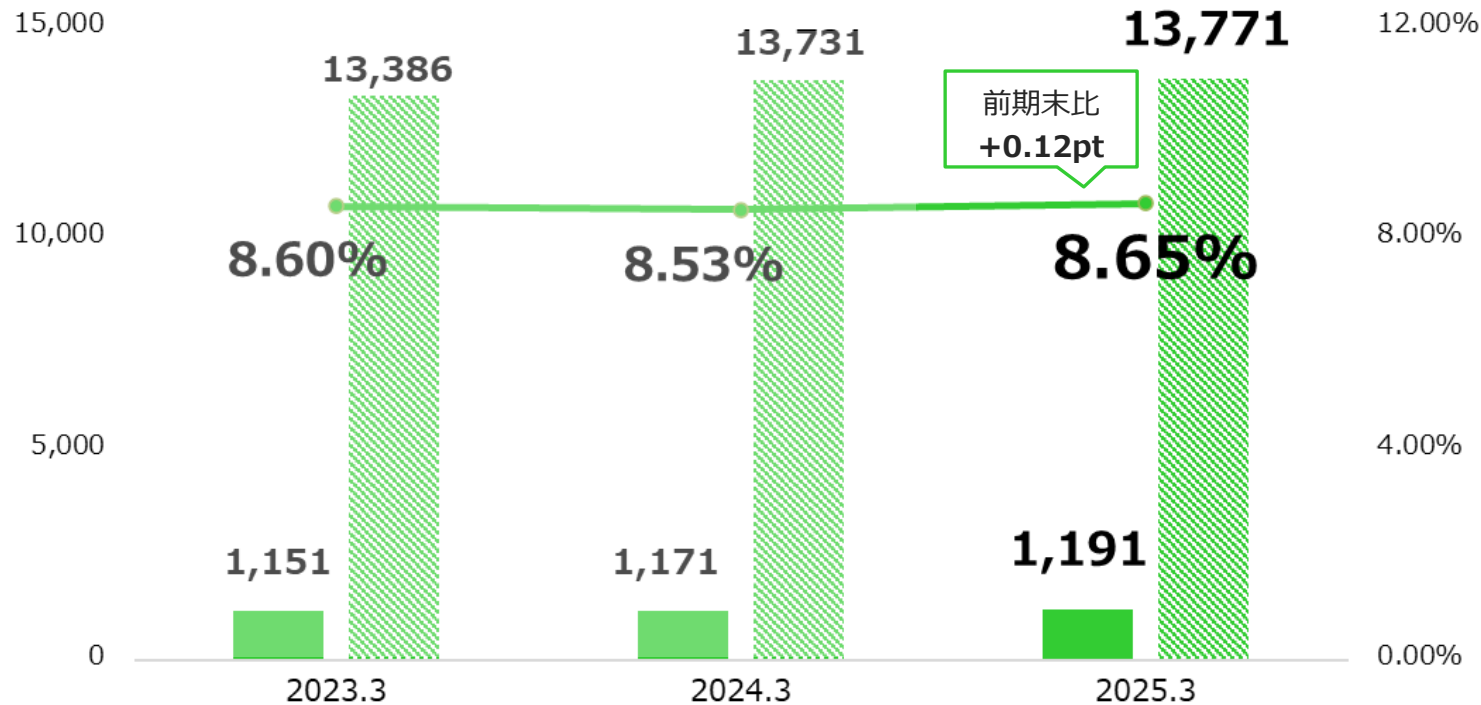
自己資本の状況

- 自己資本比率は、バーゼルⅢ最終化に基づき算出した結果、前期末比0.12ポイント上昇の8.65%となりました。国内基準の4%を大きく上回っています。
- たましんは、自己資本比率について、比率の高さだけを求めるのではなく、地域で果たす役割を第一と考えており、お客さまへ貢献した結果として得られる適正な利益の内部留保を着実に蓄積していくことで、経営の健全性向上を目指しています。

自己資本比率

(単位：億円)

■ 自己資本の額 ■ リスク・アセット等の額 ● 自己資本比率

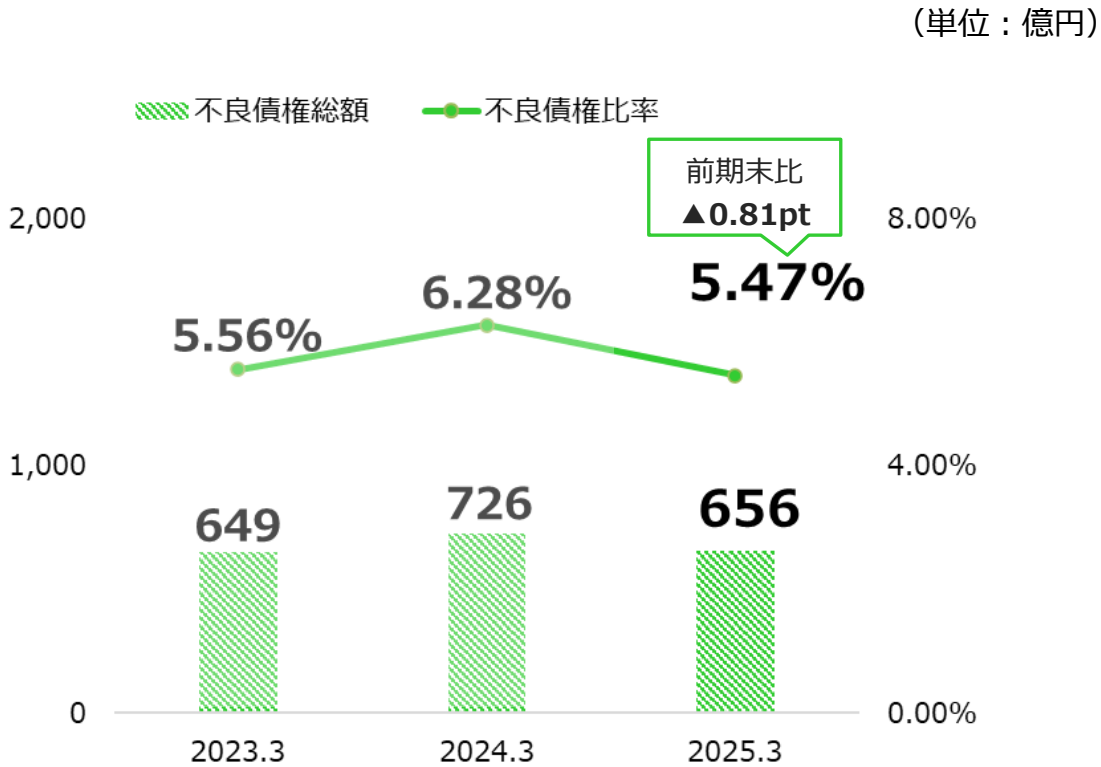


$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額}}{\text{リスク・アセット等の額の合計額}} \times 100$$

不良債権の状況

- 不良債権比率については、前期末比0.81ポイント低下の5.47%となりました。
- たましんは、前向きに事業に取り組むお客さまの悩みや課題を共有し、その課題の解決に向けて取り組んでいます。お客さまの経営環境が厳しい折にもできる限りの支援を継続していきます。

金融再生法開示債権残高・不良債権比率



開示債権の区分別残高・保全状況 (2025.3)

(単位：億円)

区 分	開示残高	保全額		保全率	
		担保・保証	貸倒引当金		
① 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	79	79	55	24	100.00%
② 危険債権	576	493	466	26	85.52%
③ 要管理債権	-	-	-	-	-
④ 小 計 (①+②+③)	656	572	521	51	87.27%
⑤ 正常債権	11,322				
合 計 (④+⑤)	11,978				

正常債権を除く開示額656億円のうち、87.27%が担保・保証、貸倒引当金により保全されています。
また、未保全額84億円についても、自己資本により全額カバーされています。

※金融再生法開示債権は、貸出金のほか、外国為替、債務保証見返、仮払金、未収利息、たましんが保証する私募債を対象にしています。
※保全率は円単位により算出した比率となっており、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

第92期 業務のご報告

多摩信用金庫

〒190-8681

東京都立川市緑町3-4

TEL : 042-526-1111 (大代表)

発行 : 2025年6月

お問い合わせ【お客さま照会センター】

本誌に関するお問い合わせ、ご意見は

TEL : 0120-187-329

出資、会員に関するお問い合わせは

TEL : 0120-077-441